

令和6年度第2回 横手市中心市街地活性化協議会 議事要旨

日 時	令和6年 8月1日(木)14:00~16:00
場 所	横手市役所 本庁舎5階 第二委員会室
出席者	渡部 尚男委員、打川 敦委員、黒丸 雄平委員、松井 豊委員、佐藤 誠一委員 高橋 淳委員、畠山 政士委員、齋藤 善一委員、佐々木 義幸委員、佐藤 公誠委員、 佐々木 均委員、佐藤 和志委員、高橋 光紀委員、高橋 雅博委員、 田原 隆雄オブザーバー、清水 明彦オブザーバー
欠席者	
事務局	小玉部長、宮本室長、山本参事、酒井主査、吉野主査
議 事	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 新委員紹介 4. 議案 議案第1号 協議会への新規加盟委員について 報告第1号 横手市中心市街地活性化計画の素案(作成中)について 5. 今後のスケジュール等について 6. その他 7. 閉会
資 料	【資料1】横手市中心市街地活性化協議会 構成員名簿 【資料2】議案第1号_協議会への新規加入 【資料3】横手市中心市街地活性化計画(素案) 【資料4】横手市中心市街地基本計画策定スケジュール_20240801

【議事要旨】

次 第	発言者	発言概要
1.開 会	司会	ただいまから、第2回「横手市中心市街地活性化協議会」を開会いたします。
2.会長あいさつ	渡部会長	<p>本日は、お忙しい中オブザーバーの皆様、構成委員の皆様にお集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p>本日の協議会におきましては、市が作成を進めている「横手市中心市街地活性化基本計画」の素案について委員の皆様より様々な立場からのご意見を頂戴したいと考えております。ぜひとも積極的な意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>
3.新委員紹介	司会	～委員紹介～
4.議案 議案第1号	渡部会長	はじめに、議案第1号 新規加盟委員について事務局より説明願います。
	事務局	～事務局より説明～【資料2】
	渡部会長	議案第1号について、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。
	一同	なし
	渡部会長	議案第1号について、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。
	一同	異議なし
	渡部会長	<p>それでは、議案第1号について、ご承認いただいたものといたします。</p> <p>新たに協議委員として承認された南川様は、次回協議から参加していただくこととなっております。</p>
報告第1号	渡部会長	報告第1号 横手市中心市街地活性化基本計画素案について事務局より説明願います。
	事務局	～事務局より説明～【資料3】
	渡部会長	報告第1号について、ご意見ご質問をお願いいたします。
	高橋雅博委員	6頁の課題3について、「生産年齢が減少」とありますが、「生産年齢人口が減少」や「生産年齢層が減少」とするほうが適切ではないでしょうか。
	打川副会長	<p>中心市街地活性化協議会が新たに再編成されたと理解していますが、その目的としては駅の西側の整備であると考えております。そうしてみると、今回の事業計画はほとんどが東口のもので西口のものがあまりないという印象です。せっかく再スタートした協議会の目的たる事業としてはいささか不安です。</p> <p>6頁の課題でも「一体的に整備を進める」とあることから、西</p>

次 第	発言者	発言概要
		<p>側の計画がほしいと考えています。新しい市民会館へは駅からスタバの前、桜の並木、消防署と武道館の間を歩いてアクセスすることになるかと思えます。多くのお客さんが駅からアクセスすることが想定されますので、遊歩道の整備や、歩道を利用した路上パフォーマンスができるような広場やベンチ、客だまりや、キッチンカーや屋台が出店しやすいような給排水、電力供給の設備があるようなアクセス動線を整備していただきたい。</p>
	事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>打川委員からおっしゃっていただいたことは我々も必要なことだと認識しており、素案を作る段階でアクセス動線の整備について検討を行った経緯があります。しかしながら、三枚橋地区の土地区画整理事業が令和4年9月に換地処分が終わったばかりであり、駅西地区の土地区画整備事業も終わったところであり、新たなインフラ整備を立ち上げることは難しいと考え、取り下げることとしましたが、市民会館を建設するにあたっては、横手駅から歩行者を誘導するアクセス、回遊性を高める工夫は必要だと認識しているので、今後も庁内で検討していきたいと考えています。</p>
	黒丸委員	<p>打川委員からの話にもありましたが、西口の事業について薄いのではないかと考えています。今一度、検討していただきたいと思えます。</p> <p>キャッチフレーズで「雪国」という言葉が使われていますが、マイナスイメージにもなりうる「雪国」という言葉をあえて使っている意義が分かりにくいという印象です。雪に対して住みやすい横手とするために、どのようにしていくのかが明確になっていないので、その辺りを明確にして記載してほしいと思えます。</p> <p>12 頁の令和3年経済センサスからの図面ですが、エリアが不正確かと思えます。横手イーストは駅前商店街振興組合なので、駅前のエリアについては精査をお願いします。</p>
	事務局	<p>検討の初期の段階では、キャッチコピーでは「雪と仲良く」というフレーズをつかっており、住んでいる側からすると、それは難しいと思いつつも、横手の特徴である「雪」に関するフレーズは外せないと考え、このようなキャッチフレーズとしました。</p> <p>市民アンケートにおいて、雪対策に関しては、重要度は最も高く、満足度は最も低いという状態です。これ以上、雪対策を盛り込むことは難しいと思いつつも、キャッチフレーズについては再考したいと思えます。</p>

次 第	発言者	発言概要
		<p>経済センサスの区域割については、再度確認を行うこととします。</p>
	松井委員	<p>30～40 年前は箱モノをつくれれば活性化するという状態でしたが、今は箱モノが便利な場所にあるか、ニーズに合っているか、使いやすいか、という要素が重要だと考えます。</p> <p>中心市街地の活性化は、横手市以外の人々が横手市に来てヒト・モノ・カネが動くことが活性化になると思います。横手が市町村競争のなかで勝つには横手の特徴を最大限に活かすことが大切なのではないかと思います。</p> <p>横手は交通の利便性で賑わい発展してきた土地柄だと思います。交通という武器をフルに活用して集客装置を作っていく必要があります。高速バスやタクシー、レンタカーなどの交通拠点を整備することが必要なのではないかと考えます。</p>
	事務局	<p>交通の利便性を活かして中心市街地にかに誘客するかが重要だと考えます。交通ターミナルに関しては、ハードルが高いですが、どうすれば実現できるか検討していきたいと思います。</p>
	佐藤誠一委員	<p>「雪国よこて」と基本方針で冬期のことについてふれるのであれば、25 頁で設定している「中心市街地活性化の目標」の「すまい」の目標指標でも冬期間の人口や交流人口を入れるべきではないかと考えます。</p>
	高橋委員	<p>円安の状況下で海外旅行客が増加し、日本人旅行客が減少している中で、観光に関することに触れられておらず、通年観光についても記載がなく寂しく思います。インバウンドに関する施策も盛り込んでもらいたいと思います。</p>
	島山委員	<p>今後の高齢化社会のなかで交通弱者が増加していくと想定されるなかで、駅に行けば交通だけでなく病院や図書館などの機能もあるというような形で駅前の価値は高まっていくと考えます。鉄道を利用しなくても駅を利用してほしいという考えで、駅前の賑わいを創出したいと考えております。</p> <p>昨年 12 月から、横手市は、秋田県の中での重点販売地域に選ばれており、大宮駅等で PR 活動を実施します。また、「かまくら」つながりで、鎌倉駅と姉妹駅となっているので、鎌倉駅でも観光 PR を実施する予定となっています。</p> <p>東口祭り、西口祭りについては、引き続き積極的に協力したいと考えています。</p>
	齋藤委員	<p>市民会館の必要性についての記載が弱いと思います。市民会館までのアクセスに関する課題だけでなく、文化振興に関する</p>

次 第	発言者	発言概要
		<p>る理念が繋がっていないと感じます。地域交流センター、市民会館の芸術文化の部分を方針の一つとして、柱としてはどうかと思います。</p> <p>現在の市民会館は、音響が悪くオーケストラを呼ぶことができませんでした。このような文化芸術面の課題をもう少し強調してほしいと思います。</p>
	事務局	<p>市民会館が西口に位置することの必要性は今後作成していきます。平成 31 年3月の都市計画マスタープランの改定に合わせて立地適正化計画を策定いたしました。その中で都市機能誘導区域を定め、その中で市民会館を都市機能誘導区域に立地させようとしたことが背景としてあります。インフラ整備の必要性に合わせて、市民会館で行う事業についても検討していきたいと思っています。</p>
	佐々木義幸委員	<p>インバウンドの取り込みは秋田県の課題の一つであります。交流の創出もそうですし、拠点施設をつくるということは横手市だけでなく県南の拠点として意義の高いものをつくらなければならないという点を明示していただきたいと思っています。</p>
	佐藤公誠委員	<p>25 頁の「すまい」、「なりわい」の数値目標が、人口の社会減と中心市街地の事業所数というのは、KPI として適切なのかどうか疑問に思います。</p> <p>人口の社会減は対策しながらも減少しているという状態であることから、目標を達成するための具体的な施策事業が必要なのではないかと思っています。</p> <p>「なりわい」の項目では、基準値が2、目標値が3となっておりますが、活性化において事業所が増えるということが必ずしも良いことではないと思います。掲げる目標値が高いのであれば事業の追加が必要ですし、目標が実態にそぐわないのであれば見直す必要があるのではないかと思います。</p>
	佐々木均委員	<p>時間がないところで膨大な事業をまとめることは大変な作業であり、敬意を表します。</p> <p>中心市街地の活性化は大変なことであると思います。視点としてはいくつもありますが、市民がいかに住みやすいかという視点と、外から人を呼び込むという視点を整理して記載する必要があるのではないかと思います。計画素案ではそれらが混在しているような印象を受けます。</p> <p>雪に関してですが、住む側としては見たくもないという状況ですが、インバウンドの面、特に台湾の方からすると、雪を見られ</p>

次 第	発言者	発言概要
		<p>れば幸せという状況です。2月に角館に私用で行く機会があったのですが、桜が咲いていない時期にも関わらず桧木内の堤に台湾からの観光客がおり、満足気に歩いているのを見ました。角館のように観光地としての知名度があると、我々が何も無いと思っている場所でも満足してくれるのだなと感心しました。そういったこともこれからは大事だと考えています。</p> <p>細かいところで恐縮ですが、49 頁、50 頁にはイベントやお祭りについて掲載されています。線香花火大会などは、関係者の努力によって新しく定着したものであります。こういったものをどのように PR していくかという視点が必要だと思います。線香花火大会は7月に開催されますが毎年大雨の時期でもあります。本当にこの時期の開催が良いのか検討が必要ではないかと思えます。</p> <p>また、55 頁インバウンド対応事業ということで、県と連携してこれまでも努力されていることと思えます。その他にも横手市には学校関係で ALT の先生方がいらっしゃいます。その方々のお力も借りていることと思えます。また秋田県内の各大学には留学生がいて、様々な地域交流をしています。そういった留学生の力を借りて個人の SNS を使って発信するという自治体もありますし、そういった方の力を借りるということも今後は必要ではないかと思えます。</p>
	佐藤和志委員	<p>28 頁、44 頁、45 頁で起業・創業支援に関する記述があります。これまではコロナ化で起業・創業を控えていた方も昨年の5月に動き始めたということもあると思えます。</p> <p>令和6年度に関しましては、4か月で前年度の起業・創業補助金の申請数に迫る数の申請があります。今後の見通しが明るくなったというなかで事業実施の決断をされる方が増加しているということだとみております。</p> <p>KPI の設定は再考の余地があるかと思えますが、我々としては支援をしっかり行うことで、活性化につなげていかなければならないと感じています。</p> <p>先ほどの意見の中で、交通利便性という特徴をフル活用していくというのがありました。交通利便性は優位なところではありますが、秋田空港横手間に限ると弱点となっており、このため、7 月 18 日から秋田空港と横手駅を直接結ぶ送迎バスを一日4往復運行しています。稼働率で見ると7割程度、乗車率では5割に満たない程度のものであります。</p>

次 第	発言者	発言概要
		<p>利便性、満足度の向上のためにも送迎サービスの周知を図ることが必要です。外からの観光客を秋田空港からまっすぐ横手駅へ誘導し、中心市街地の活性化につなげていかなければならないと思います。</p>
	高橋光紀委員	<p>西側の計画が少ないという印象を受けました。いずれ市民会館ができた暁にはアクセス動線の方を考えていかなければならないと思いました。</p>
	東北地方整備局 清水課長	<p>資料のとりまとめ、説明ありがとうございました。</p> <p>各エリアで施策を進めていくところを分かりやすくまとめていただいている一方で、後段にまとめられている事業とのリンクが必要になってくるかと思っています。作成中でありました実施箇所図としてまとめていただくことが必要かと思っています。</p> <p>目標値の「すまい」で、実績値の増減が年によってばらつきがあるなかで、漸近的に減になるというところに、どれほど信ぴょう性があるものなのかは疑問に思いました。</p> <p>また目標値の設定に関しても、再開発事業や住宅施策で受け皿をつくることで居住者を増やしていくというような考察を行うと目標設定のなかでも厚みが出るかと思っています。</p> <p>雪国の考え方では、私も青森市に住んでいましたが、青森市も様々な計画がある中で、都市マスでは雪国という言葉はなかったと記憶しています。一方で除排雪等は別の雪対策の計画の中で厚みを出して打ち出していました。今回中活の計画ということで、観光資源としての位置づけも大きいと思いますので、雪に関してどれだけのバランスで打ち出すかというところを検討していただければいいと思います。</p>
	秋田県平鹿地域振興局 田原課長	<p>28 頁「なりわい」の目標指標は、17 頁の中心市街地における小売業の状況に関するものであるべきだと思うが、関係性がわかりにくいと思いました。</p> <p>17 頁、「図 事業所数(小売業)の推移」及び「図 従業者数(小売業)の推移」において、平成 24 年から平成 26 年にかけて、シェア率が低下しているのはなぜかお教えいただきたいです。</p>
	事務局	<p>経済センサス上の小売業増減は既存の商店を含めていますので、古くからの商店がお店を閉められるとそれが数値に表れて数が減っていくという状況にあります。</p> <p>また目標値として総数を取ってしまうと既存の商店の閉店・廃業のペースに新たな起業・創業が追い付かないというところで、</p>

次 第	発言者	発言概要
		プラスの資料を作ることが難しくなってくるだろうというところで目標として増加値を設定しています。
	渡部会長	本日頂戴した様々なご意見について、基本計画の完成版作成に、反映できるものは反映させて頂き、良い計画になるようにしてほしいと思います。 以上で議案の審議を終わります。
5.今後のスケジュール等について	司会	次第の「5 今後のスケジュール等について」事務局より説明願います。
	事務局	～事務局より説明～ 【資料 4】
	司会	今後のスケジュールに関しまして、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。
	一同	なし
6.その他	司会	次第の「6 その他」に移らせていただきます。 この機会に何かご発言ご質問ございませんでしょうか。
	一同	なし
7. 閉会	司会	これもちまして、第 2 回「横手市中心市街地活性化協議会」を閉会いたします。 本日は誠にありがとうございました。